

# かんしや



お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。

2020  
Vol.174

## シリーズ地区社協 第6回

このコーナーでは、地域住民に最も身近な地区社協が行っている住民相互の支え合い活動をシリーズで紹介します。

笑顔のまわりに、笑顔が集まり、笑顔があれば、繋がる絆。



参加者同士の会話がつきません

核家族化、少子高齢化が進む中、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の数は年々増加しています。

ひとり暮らしの方の中には、一日のほとんどを他の人と会話がなく過ごす方もいます。

そのような中、西諫早小学校区社会福祉協議会(会長：山内正登)は、11月14日に「ひとり暮らし高齢者の集い」を開催しました。

この集いは、高齢者の閉じこもりの防止や孤立感を緩和するために、赤い羽根共同募金事業として実施しています。また、地域が一体となって盛り上げるため、西諫早中学校の野球部とサッカー部の皆さんが楽器の搬入・搬出など、運営スタッフとして協力しています。

147人が参加した今回、最高齢で96歳の小西秋吉さんは、10年間毎年参加されており、「子供たちの頑張っている姿を見るととても感動し、元気をもらえる」と話され『爽やかにばちと太鼓のよきリズム』という句を詠まれました。

催し物では、はじめに西諫早小学校の児童による

合唱・合奏、そのあと星の子保育園の園児による和太鼓が会場中に響きわたり、子供たちの一生懸命披露する姿に盛大な拍手が送られました。

飯盛のキャロット劇団による「ハルバあちゃんは100歳」の演劇では、ハルバあちゃんが愉快地元気に過ごす様子が披露され会場は爆笑の渦に、諫早男声合唱団の歌声に参加者は、体をゆらし、手拍子をしながら楽しまれていました。

今回、参加された平田幸枝さんは、「いつもは話すことができない人とも交流ができて楽しい」、運営者の森永恭光さんと田中順子さんは、「このように多くの人が集まるイベントを通して、交流の輪を広げ、お互いに助け合えるような環境づくりに努めたい」と話されました。

会場内には参加者の皆さんの素敵な笑顔があふれ、とても心が温まる時間となりました。

このような地区社協の活動がきっかけに、人と人とのつながりが増え、地域全体で一致団結し、支え合い、助け合いの活動が充実することを願います。



日頃の練習の成果を発揮する星の子保育園の園児たち

# 福祉協力員が活躍しています

## ～「福祉協力員ガイド」を発行～

住み慣れた地域でいつまでも安心して過ごすことは住民誰もが願うことです。そのため、地域で困っていることを気軽に相談したり、困っている方を地域の方が気付き専門機関に繋げたりするなど、地域で支え合う仕組みづくりが必要です。諫早市では、地区・校区社会福祉協議会（以下、「地校区社協」）が同じ地域住民の困りごとに気づき、声かけや見守り活動をボランティアで行う「福祉協力員制度」を設けています。

### 【福祉協力員として活動するためには】

福祉協力員は、地校区社協の活動を支え、地域を元気にするボランティアです。

住民同士による支え合い、助け合い活動を実践する地校区社協の活動は、「ふれあいいきいきサロン」、「ひとり暮らし高齢者の集い」、「子育てサロン」、「世代間交流」など多岐にわたっており、活動の担い手の確保が必要となっています。

また、地域で困っている方に気づき、支援につなげていくために、見守り活動・声かけ活動に参加する方が必要になっています。

地域の困りごとは、日頃からの地域のつながりで気づくものです。そのため、福祉協力員は、住民に顔や名前を覚えてもらい、住民からの地域の情報が得られやすくなるよう、地校区社協の事業や地域の行事に積極的に取り組んでいます。

また、住民で支え合い助け合う地域のネットワークを作っていくため、「ふれあいいきいきサロン」や「子育てサロン」のように地域の方が集い、仲間づくりができるような場を支援し活動しています。

### 【福祉協力員の活動事例】

諫早市には、16の地校区社協で、177人の福祉協力員が活躍されています。

各地校区社協では、次のような活動に取り組まれています。

#### （御館山校区社協）

元気がないひとり暮らし高齢者宅の郵便受けに郵便物がたまっていないかなど、外からでもわかる様子の変化を気かけ、民生委員・児童委員とも状況を話し合っています。

#### （真津山小校区社協）

「ふれあいいきいきサロン」や「子育てサロン」などの地校区社協の活動に運営スタッフとして取り組み、住民の集いの場を支援しています。

### 【福祉協力員に対する支援】

福祉協力員の活動は、同じ地域に住む住民が地域の困りごとに気づき、支え合い助け合う地域づくりに繋がっています。この地域づくりが進むと、急病、地震・風水害などの緊急時にも対応できる体制づくりに繋が



子育てサロンの様子



ふれあいいきいきサロンの様子

ります。

本会では、福祉協力員制度の理解促進や、福祉協力員の活動に役立てていただくよう「福祉協力員ガイド」を新たに作成しました。

今後も、福祉協力員の活動の更なる充実と地校区社協の活性化に取り組んでいきます。

### 【参考】諫早市内の福祉協力員の活動状況

※令和元年10月1日現在

地区社協名	人数	地区社協名	人数
諫小地区	16	小長井地区	12
上山地区	10	森山地区	12
上諫早地区	6	小野地区	13
北小校区	6	有喜地区	9
西諫早小学校区	16	真津山小校区	13
西諫早地区	12	多良見東地区	9
御館山校区	15	喜々津地区	12
高来地区	6	多良見西地区	10
16地校区社協の合計			177



# 第15回 諫早市社会福祉大会

～ひろげよう！「お互いさま」の愛・言葉～

日時 令和2年2月19日(水)

○開場／午後1時～ ○開演／午後1時30分～

会場 諫早文化会館 大ホール

会程 午後1時30分～ 式典・諫早市社会福祉協議会表彰

・出口ボランティア表彰

午後2時35分～ 活動発表および特別公演

(飯盛町「地域共生助け合い隊」の活動発表を盛り込んでいます！)

発表者：地域演劇で町づくり実行委員会

代表 藤本八重子 氏

演題：「長寿時代をどう生きる！

～おたがいさまの助け合い～」

午後4時 閉会



**入場無料**

※手話通訳・要約筆記を行います

※託児コーナーあります(要予約)

**今月のキラリ★** このコーナーでは、地域で「キラリ」と光る福祉活動を紹介していきます。

「共に助け合う地域づくり！」～飯盛町 地域共生助け合い隊～

代表者 藤本八重子さん



### 1 活動のきっかけ

地元ならではの地縁を生かし「誰もが自分らしく生活しながら、楽しく健康寿命を延ばし、共に助け合い、老いも若きも安心して暮らせる地域づくり」を目指し、平成30年9月、地域住民が協力して発足。

### 2 活動の内容

利用者(受け手)	地域の高齢者、独居者、障害者、子育て世代など
助け合い隊会員(支え手)	現在87人
主な支援内容	ゴミ出し、掃除、話し相手、食事作り、買い物代行、病院付き添い、庭の草取り、緊急時の見守りなど
利用料	10円～500円のワンコイン(有償ボランティア活動)
生きがいづくり活動	語り場の拠点として、今年6月、いもりコミュニティ会館内に誰でも自由に足を運べる「コミュニティサロン」を開設

### 3 利用者や会員の声

- ・昔からの顔見知り頼めるので安心。世間話をしながら気軽に相談できます！
- ・ずっと気になっていた草むしりと部屋の片づけを頼んだら、気分も明るくなりました！
- ・自分も無理なく楽しみながら、誰かの役に立てていることが嬉しいです！
- ・行政の手が行き届きにくい面をおばちゃんパワーでカバーしたいと思います！



### 4 これからの想い

地元住民のちょっとした困りごとを自分のこととして地域ぐるみで取り組み、気軽に楽しく(助けたり、助けられたり)、お互いに支え合いながら、誰もが生きがいのある人生を送ることができる仕組みの定着が大切！そのためには、この活動を継続すること、次の担い手を育てること、地域に応じた活動にしていくこと、自分たちの地域は自分たちで助け合う！という想いを大切に活動していきます！

令和元年度

# 諫早市ボランティアフェスティバル

～つながる 拡がる ボランティアの力～

**日時** 令和2年1月26日(日)  
午前10時30分～午後2時30分  
**場所** 諫早市民センター（諫早中央公民館）

**入場  
無料**

ボランティア同士の情報交換・交流をとおして活動の輪を広げ、「市民みんながボランティア!!」を目指して、ボランティア団体の協働により開催します。  
★手話通訳・要約筆記あり



(絵画協力：森山西小学童クラブ)



(絵画協力：森山東小学童クラブ)

<b>交流出演(10:50～)</b>	<b>体験コーナー</b>
幼保連携型認定こども園 <b>もりやまこども園</b> ～龍踊りと歌の披露～	レクリエーション(あそび方)体験、 点字体験、太鼓体験 など
<b>諫早市のボランティアを知ろう!</b>	<b>相談受付コーナー</b>
<b>舞台発表</b> 諫早天満太鼓、要約筆記紹介の寸劇、 太極拳、オカリナ演奏など	まちの保健室、精神保健福祉相談 認知症相談、おもちゃ修理 など
<b>活動紹介・パネル展示</b> ボランティア団体の活動を紹介します	<b>出店コーナー</b>
	焼きそば、フライドポテト ビスケット、EM菌配布 など

主 催：諫早市ボランティア連絡協議会  
問い合わせ先：諫早市ボランティア連絡協議会事務局（諫早市社会福祉協議会内）TEL 0957-24-5100

**ご寄付ありがとうございました**

令和元年11月1日～令和元年11月30日受付分  
次の皆さまから、心温まるご寄付をいただきました。  
ご厚志に沿うよう地域福祉事業のため大切に使用させていただきます。

**香典返し**

- ▼植原 捷子 様（原口町）【亡母 ミユキ 様】
- ▼釜坂 公治 様（飯盛町開）【亡母 房枝 様】
- ▼兼松 良二 様（厚生町）【亡母 信子 様】

**篤志寄付**

- ▼原口町公民館 弘法大師堂浄財 様（原口町）

**歳末たすけあい演芸大会**  
演芸披露で募金活動

12月1日(日)、中央公民館（諫早市民センター）で第54回歳末たすけあい演芸大会を開催しました。  
この大会は、歳末たすけあい運動の一環として、市内の演芸愛好団体のご協力のもと実施している事業です。  
演芸大会で寄せられた募金、125,000円は、全額歳末たすけあい募金へ寄付しました。  
ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

**1月のふれあい福祉相談**

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

<b>一般相談</b>	開設日	月曜日～金曜日(祝祭日を除く)
	開設時間	午前10時～午後3時
	場 所	ふれあい福祉相談センター (諫早市社会福祉会館内) 【専用電話】23-7022

**編集発行** 社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地  
TEL0957-24-5100 FAX0957-24-5101  
ホームページ <http://isahaya-shakyo.jp>  
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)

Facebookを開設しております♪最新情報を発信中!!

**諫早市社会福祉協議会**